

エジプト 柑橘類の出荷シーズン開始が早まる

FreshPlaza 2023年12月4日

柑橘類の出荷シーズンの正式な開始日は、当初は12月15日に予定されていたが、農産物輸出協議会は気象条件の改善を理由に、12月5日に前倒しすることを決定した。

エジプトの柑橘類生産・輸出業者であるアブデルカデル・ハボニー氏は、本サイト(FreshPlaza)に対し、「過去2週間で気象条件が大幅に改善し、柑橘類の成熟が早まった。果実は色付きが95%、ブリックスが13%に達し、サイズはバランスの取れたものになっている。開始日を前倒したことは、エジプト産の柑橘類が適切な品質レベルに達しており、すべての指標が良好であるという事実を反映している」と述べた。

昨シーズンとは異なり、入数34から48、56、64、72と大玉が豊富にある。入数88から125までの小玉もあるが、昨シーズンよりも量が少ない。あらゆるニーズと仕様に対応した柑橘類が大量にある。これは、昨シーズン遭遇した様々な問題のない素晴らしいシーズンの前兆である。

ハボニー氏は、出荷シーズンを前倒しても、物流上の懸念は生じないと付け加え、「収穫はすでに始まっており、果実は現在梱包施設にある。今シーズン最初の荷は明日エジプトを出発する。今年は梱包施設の数30%近く増え、円滑に稼働するよう運営されている。エジプト当局も港湾の円滑な運営を確保するために動員されている」と述べた。

同氏は、出荷シーズンの前倒しは、柑橘類に対する既存のニーズも反映していると言い、「天候上の理由だけでなく、世界中に存在する柑橘類へのニーズを満たすためにも出荷シーズンを開始したいと考えている。世界の柑橘類市場における質と量の低下を背景に、エジプトからの出荷が期待されている。」と述べた。

ハボニー氏は、「今シーズンのエジプトの輸出業者の合言葉は品質である」と続け、「我々は、出荷先市場の基準と仕様を満たす商品を提供するためにあらゆる努力をしている。農産物輸出協議会と政府は、輸出品の品質とエジプト産柑橘類のイメージを維持することに注意を払っている。弊社のグループでは、数十種類の柑橘類を生産・輸出してきた長年の経験を活かしている」と語った。

執筆者: ユーネス・ベンサイド

(関連記事)エジプト 柑橘類の価格はトルコやギリシャよりも競争力がある

FreshPlaza 2023年11月28日

エジプトの輸出業者らは、12月15日に正式に始まる柑橘類の出荷シーズンに向けて準備を進めているが、価格が昨シーズンと比べてどのようになるかは依然として不明である。アルウェッサム農産物会社の輸出部長であるマフムード・エサウィ氏がその見解を披露している。(以下「」は同氏の発言)

専門分野の複数の情報筋のこれまでの発表によると、生産コストの増加をカバーし、今シーズンのエジプト産柑橘類の品質と世界市場における柑橘類の需給バランスを反映させるためには、価格の引き上げが必要である。同氏の意見では、エジプトの輸出業者は高い柔軟性を持つ必要がある。

「競合国の中での我が国の地位は、量的にも質的にも確かに有利である。エジプトはギリシャやトルコと競合することになるが、今シーズンは十分な出荷量があり、非常に高品質で、すべてのサイズが揃っており、マンダリン、マーコット、レモン、ネーブルオレンジ、バレンシアオレンジ、バラディオオレンジなど、幅広い品目がある。これにより、すべての市場の要求を満たすことができる。しかし、それでも価格は自由にならない。」

「生産コストの上昇に対応しながら、競争力のある価格となることを目指す。エジプトでは包装と農業投入資材のコストが高騰しており、これはドル高によって悪化している。生産コストの抑制に最善を尽くしてきており、価格が不当に上昇しないように努力する。まずは価格を引き上げたうえで、何よりも果実の品質を向上させ、特に高級品市場を中心に顧客のニーズを満たす。我々はすべての市場で競争力を維持することを目指しており、エジプト産の果実がトルコ産やギリシャ産の果実よりも高価になることはない。マンダリンの競争力が高

まることはすでにわかっており、ネーブルオレンジについて語るのはまだ少し早いですが、おそらく同じようになるだろう。」

「他の輸出国との競争に加えて、エジプトの輸出業者間で激しい競争が繰り広げられるだろう。これは我々の取引先にとって非常に有益なことであり、昨シーズンよりも品質とサイズの優れた果実について、適切な価格を見出すであろうし、それは世界的な競争価格よりも低いものになるだろう。シーズン開幕時点では、昨シーズンの同時期と比較して、10～15%程度の値上がりになると見込んでいる。出荷シーズンを通して安定した需要があれば、大成功になるだろう。」

執筆者：ユーネス・ベンサイド

(関連記事) エジプト 今シーズンの柑橘類は商業的に容易

FreshPlaza 2023年11月29日

「今シーズンは昨年よりずっと容易だろう」

ジェリラ社のエスラム・ジェリラCEOによると、これから始まる柑橘類出荷シーズンは、サイズの改善や競争の緩和によって、エジプトの輸出業者にとっては商業的な観点からかなり容易になる。「」は同氏の発言

「昨シーズンは舵取りが大変難しかった。しかし、今年はすべての柑橘類について、サイズ、品質、需要が全部改善した。このことは、昨シーズンよりも容易なシーズンになることを約束している。収穫まで2週間になり、ブリックスは現在12%以上で、収穫時には13%に達するはずである。着色の度合いは多くの農場で80～90%に達している。

昨シーズンの最大の課題の1つは、小玉の果実が多く、価格と出荷先に大きな影響を与えたことである。しかし、今年はサイズの分布のバランスがよく、同氏は、シーズンの幕開けとなるネーブルオレンジでは、小玉が20%、中玉が50%、大玉が30%だと言う。「このことで、昨シーズンの注文が減少した中国など大玉を好む市場でのシェアを回復することができる。」

エジプトの出荷シーズンは南アフリカ産のシーズンが終わると始まる。モロッコとスペインは干ばつのために出荷シーズンのスタートに失敗しており、シーズン全体に影響を与えると見られる。「市場には引き続きトルコ産の柑橘類があり、昨シーズンよりも量が多いものの、現在市場で聞かれる苦情から判断すると品質に懸念がある。ギリシャ産は入荷量が少ない。」

「したがって、スペインの出荷量の減少により、フランス、ギリシャ、ドイツ、イタリアからの需要が高まると予想している。出荷シーズンの開始前から、ヨーロッパ全体への再輸出のハブであるオランダからすでに強い引き合いがあり、これはエジプト産の従来からの市場であるロシアやサウジアラビアに上乘せになる。」

モロッコとスペインでの出荷量の減少は、通常エジプトからは大量に輸出しない市場でエジプトの輸出業者に余地を残すことになると同氏は言う。「これは南米、フィリピン、カナダに当てはまる。」

エジプト産の柑橘類から黒カビが見つかったというスペインの生産者組合の主張について尋ねると、ジェリラ氏は、「エジプト産だけでなく、スペインの生産者と競合するあらゆる国を狙ったこの種の主張を我々は聞き慣れている。柑橘類の果実に病気の兆候は何ら観察されておらず、その旨の苦情も受けていない。エジプトの衛生当局は非常に厳格であり、我々の果実は世界中に輸出されているので、黒カビが生えていたら皆が知るようになるだろう」と答えた。

「弊社では、既存のISO、グローバルGAP、SEDEX、GRASP、BRCGSなどの認証に加えて、新たに『FSSC』や『ICS』などの認証を取得した。これは、食品の安全性と果実の品質に対する弊社の真摯な取組を強調するものである。」(以下省略)

執筆者：ユーネス・ベンサイド